

さこーちゃん通信

【2020年4月】
第5号



今月のごあいさつ

こんにちは！子供の頃、自転車で走りながら前輪部分にあるライトを右足でつけようとしたところ、右足が前輪に挟まり、大転倒した佐光英貴です。最近の自転車は暗くなると自動でライトが点灯するようですが、雪が解けて自転車に乗る機会が増えてきます。安全運転を心掛けくださいね。

4月といえば、入学式です。ピカピカのランドセルの1年生が見られる季節です。ついそれに見とれて転びそうになって「うわっ、危ない！」とならないように、こちらもお気をつけくださいね～笑。

◆◆笑顔流筆文字教室に参加しました！◆◆

2月15日、「笑顔流筆文字教室」に参加しました。堀内正己先生が考案した「笑顔流筆文字」をたった3時間で書けるようになるという教室でした。

きっかけは、懇親会の席で同業者であり協力パートナーでもあるKさんが私宛に書いてくれました。

私は4～10歳まで書道を習っていた（母親が書道の先生だったため）ので、字は下手な方ではないと思っていますが、相手に感動を与える

ほど上手に字を書けません。この「笑顔流筆文字」を見た瞬間、「えっ！何これ??なんかすご～い。味があって、温かみがあって、ウキウキする～」と感じ、私も書いてみたいと思いました。

この教室では、堀内先生のこれまで生き様（かなり泣ける話が多いです）や、この「笑顔流筆文字」にたどり



私の第1号作品

着いたこと、そして「笑顔流筆文字」が起こした多くの奇跡についての話もありました。がん患者の方に、「笑顔流筆文字」で書いたハガキを渡したところ、その日から笑顔が増えて、半年後にはがんが消えてなくなっていた、

ということもあったそうです。

私は「**ストレス減少、ハッピー増大**」をモットーにしています。皆さんも私も、いつも笑顔になれることを望んでいます。

まだまだ下手ですが、皆さんのお手元に「笑顔流筆文字」で書いたハガキをお届けしたいと思っています。楽しみにお待ちくださいませ～。



Kさんが私に書いてくれたもの



堀内先生
ありがとうございます！

「さこーちゃん通信」は佐光に関わりのある方や、ご縁のあった方に不定期で送付しております！手渡しで受け取った方で、「定期購読希望！」という方は、お気軽に連絡をくださいね。



ラインの登録
大歓迎です！

佐光 英貴 さこう ひでたか

携帯電話 090-2876-2283

メールアドレス hidesako7447@gmail.com

LINE ID hidesako7447

住所 〒007-0846
札幌市東区北46条東15丁目1-24



ライン登録用

♥♥♥野球好き♥♥♥ 今回のテーマ「香田誉士史さんから学ぶ」

野球をこよなく愛するさこーちゃんが、野球をテーマに好き勝手に書くコーナーです。賛否両論あると思いますが、野球を愛する気持ちをお汲み取りくださいませ(^^)/

今回のテーマは、「香田誉士史さんから学ぶ」です。

当初の予定では、選抜高等学校野球大会（春のセンバツ）や日本リトルシニア全国選抜大会の感想などを書こうと思っていたのですが、残念ながら中止となりました。選手や関係者の気持ちになると、心が痛みますが、夏を楽しみにしていますので頑張りたいと思います。

さて、北海道の高校でNo.1の実績と言えば、やはり「駒大苫小牧（通称：コマトマ）」でしょう。甲子園の出場回数は、北海高校が50回（春・夏通算）とダントツですが、コマトマは2004年夏と2005年夏に優勝、2006年夏は準優勝しています。



優勝旗を持っているのが佐々木孝介さん
（当時キャプテン、現在は同校監督）

当時、「コマトマ」フィーバーで北海道は盛り上がり、TVやスポーツ新聞で話題を飾ることも多かったと思います。本当に強いチームでしたが、負の面もありました。上級生の飲酒・喫煙が明るみになり、2006年春は出場辞退になりました。それでもチームは立ち直り、2006年夏、決勝戦で「マーくん」こと田中将大投手と「ハンカチ王子」こと斎藤佑樹投手の投げ合いは、いまなお語り草ですが、延長15回1-1引き分け、翌日再試合では惜しくも4-5で敗れ準優勝となり、「2・9連覇」と呼ばれました。

それから14年程経過し、今回の春のセンバツ中止を受けて、改めて最強「コマトマ」、そして当時監督の香田誉士史氏のことを知りたいと思い、ネット検索していると、「勝ち過ぎた監督 駒大苫小牧 幻の三連覇」

（著：中村 計）という本に出会いました。きっと私が知りたい最強「コマトマ」がわかると思い、すぐに購入し完読しました。駒大苫小牧の監督や選手はもちろん、関係者の話も豊富でした。個人的には、息子がお世話になりました札幌新琴似シニアの生嶋監督のコメントがちょいちょい出てくるのが嬉しかったです。

ただ、私はこの本は「コマトマの栄光」について書かれていると想像していたのですが、まるっきり違いました。ノンフィクションですので、本の内容を書くのは控えますが、ひと言で言うと、「監督である香田誉士史さんの栄光と挫折」、もっと言えば「香田誉士史さんの残酷物語」でした。

甲子園連覇の偉業を達成しながら、その後の部内での不祥事に翻弄され、絶頂と奈落との間で引き裂かれつつ、精神のバランスを崩していく姿に、私は「こんなことが起こっていたんだ～」と胸が締め付けられる想いでした。

2018年9月の北海道胆振東部地震、今回の新型コロナウイルス、**これまでの当たり前前生活が当たり前前できないことを経験すると、一日一日を熱量多く過ごすことの大切さを、この本を通じて香田誉士史さんから学ぶことができました。**

野球をやっているお子様がいる方は、是非ご一読を。



現在は多くのチームがするNo.1ポーズ
発祥はコマトマです



◆◆◆今月の1冊◆◆◆

読書好きのさこーちゃんがおススメする本を紹介するコーナーです。

今回の本は、小林正観著「100%幸せな1%の人々」です。こちらの本は私の師匠に勧められた1冊になります。

少しスピリチュアルな本で非科学的な内容かもしれませんが、私にとっては嫌いなものではありませんので、紹介させていただきます。

著者の小林正観さんは1948年生まれ、心学研究家の方です。年300回以上、全国各地で講演を行っていたようです。

この本の中で、「**合計5万回の『ありがとう』を言うと、自分にとって嬉しい奇跡が起き始める**」という話があります。

60代で末期がんと診断された女性。この女性が宣告を受ける1週間前に、娘から次のような話を聞いていました。

「心を込めなくてもいいから『ありがとう』を2万5,000回言うと、なぜか涙が出てくる。その涙が出た後で、再び『ありがとう』を言おうとすると、心の底から感謝の念が湧いてきて、『ありがとう』の言葉が出てくる。気持ちを込めて『ありがとう』をあと2万5,000回言うと、突然、自分にとって嬉しく、楽しく、幸せな奇跡が起き始めるらしい」という話です。

この女性は「他に手の打ちようがないのであれば、奇跡に頼ってみよう。1日1,000回の『ありがとう』を言って、100日（合計10万回）続ければ、いくらなんでも5万回を数え間違えることはないだろう」と。そして、3ヶ月後、合計10万回の『ありがとう』を言い、もう一度病院の検査に行きました。検査の結果は、「がん細胞が全身からすべて消えている」というものでした。末期がんが治ってしまったのです。理論的に説明できることではないでしょうが、事実だといえます。

但し、気を付けなければならないことがあります。「不平不満・愚痴・泣き言・悪口・文句」を言ってしまうと、「チ～ン」という音がして、『ありがとう』の効果が消えてしまうとのこと。もし「不平不満・愚痴・泣き言・悪口・文句」を言ってしまったら、どうすればよいのでしょうか。その時は、10秒以内に、「今のナシナシ！今のは間違いです！」と取り消せばよいとのこと。

その場合のみ、ゼロにリセットされず、『ありがとう』が積算されていきます。なぜなら、「不平不満・愚痴・泣き言・悪口・文句」を言ってしまったことよりも、言ったことに気づかない方が問題だからです。

「こんな話は迷信だ」「やるだけ無駄だ」と思う方もいると思います。また、「こんな簡単なことなら誰だってやれるし、簡単に奇跡なんて起こらない」とも思うかもしれません。

でも、1ページ目の「笑顔流筆文字教室」でお伝えした通り、笑顔が増えることで奇跡が起こることもあるようです。

『ありがとう』という感謝の言葉をいつも発する習慣、いつも『笑顔』でいる習慣が身に付くと、人生良い方向に向かうと思いませんか？

皆さん、どう感じられたでしょうか？

100%幸せな
The 1% Who Are 100% Happy
1%の人々

小林正観

「すべてが幸せ」になる
59の法則

「悩み・仕事・病気・お金・イライラ・子ども、
すべてのことを受け入れて、
100%幸せに生きる「1%の人」になる



マンガでわかる～版もあります

◆◆◆友人のお仕事紹介(1/3)◆◆◆

さこーちゃんのまわりで活躍している方を紹介するコーナーです。
誠実で真面目な雰囲気が出ている写真ですよ～。

今回は札幌市中央区にあります「里村司法書士合同事務所、土地家屋調査士・行政書士武重雅昭事務所」の武重雅昭さんに話を伺ってきました。

司法書士・土地家屋調査士・行政書士の3つの資格を持つ武重さん、実は私とは旭川東高校の同級生です。

武重さんの高校時代のあだ名は「大先生」でした。なぜ「大先生」というあだ名になったかは全く覚えていませんが、大人になって本当に「大先生」になってしまいました笑。

同窓会などの宴席で話をする機会が多いのですが、今回は真面目に仕事の話をお伺いしてきました。

ではでは、インタビューをお楽しみくださいませ～。



【佐光】 こんにちは！早速ですが、[仕事の内容について教えていただけますか？](#)

【武重さん】 事務所は二条市場の近くのマンションです。来訪客はほとんど予約の方なので、派手な看板は掲げておらず、ひっそりとやっています。二条市場の近くですが、食事は提供していないので、お腹を空かせている方のお役には立てません笑。

【佐光】 いきなり親父ギャグをかましたね～笑。それで、それで??

【武重さん】 (真面目な顔になり) 私の仕事は司法書士、土地家屋調査士、行政書士という資格業です。どのような仕事かという、司法書士業務は、相続・売買等に関する不動産の権利に関する登記の手続きや会社設立・変更等の商業登記手続きをメインとしています。また、認知症や知的障害者の方の後見人に就任したり、簡易裁判所において訴訟代理人として事件を受任することもあります。

【佐光】 なるほど～。さすが大先生！他の業務は??

【武重さん】 土地家屋調査士業務は、建物を新築したり解体した際等に、不動産の物理的な現況を登記簿に反映させるための表示に関する登記申請をしています。行政書士業務は多岐に渡りますが、建設業許可申請や相続の手続きをメインに行っています。

【佐光】 業務内容が幅広いですね。3つの資格業の中でメインになるのは??

【武重さん】 司法書士業務が7割程ですかね。以前は、土地の売買や住宅ローンの際の登記が多かったですが、最近では「終活」という言葉が流行っているように、遺言や相続、後見業務の相談が増えていますね。

【佐光】 そうですよ。私も「相続診断士」という資格を保有していますが、相続の相談は増えていますよね。私には相続を見据えて方向性を検討する入口の段階での相談が多いですが、具体的な相続対策を実施する際は、司法書士や税理士の方の力を借りないと出来ません。大先生を頼りにしていますので、よろしくお願ひしますね。



高校3年生の武重さん(左)と私(右)
今と全く変わっていません!!笑

◆◆◆友人のお仕事紹介（2/3）◆◆◆

【佐光】ところで、どうやって今の仕事に就いたのですか？

【武重さん】大学3年生の秋、就職を意識し始めた頃、「サラリーマンになるのもな〜」との思いから司法書士資格の受験勉強を始め、24歳で合格し、すぐに今の事務所に勤務しました。それ以降、合同事務所として今に至ります。

【佐光】へえ〜。大学時代、勉強してたんだ〜。私は遊んでいた記憶しかありませんよ〜笑。今の仕事の一番のやりがいは何ですか？

【武重さん】困っている方に助言した時や、簡易裁判所での代理権の範囲で裁判代理をして勝訴した時に、依頼者から感謝されると、やはりこの仕事をやっていて良かったなあ〜と思います。

【佐光】そうですね。お客様からの感謝の言葉は、本当に励みになりますよね。他の同業者との違いは何かありますか？

【武重さん】他の同業者の特色はわかりませんが、私の事務所には紹介されて来られる方が多いかなと思います。不動産業者、銀行、これまでのお客様などからの紹介です。丁寧に仕事をすれば、依頼者が宣伝してくれ、仕事が増えると思っています。また、3つの資格を有しているため、他の事務所に比べて事案を解決できることが多いのが強みかと思っています。

【佐光】丁寧な仕事、信頼される仕事ぶりが紹介を生むのでしょうか。私も心掛けています。これから武重さんのような仕事を始めたいという方がいたら、どのようなアドバイスをされますか？

【武重さん】資格を取得したからといって、すぐに仕事を得られるわけではないので、独立するのはなかなか厳しいかと思います。お金持ちにはなれない仕事？ですが、やりがいのある仕事だと思っています。

【佐光】そうですか〜、お金持ちになれない？では、もし絶対に失敗しない保証があるなら、どんな仕事をやってみたいですか？

【武重さん】不動産王！！！！いわゆる不労所得で生活できれば最高かも。

【佐光】なるほど〜、「不動産王=お金持ち」ですよね笑。ところで、今まで仕事をしてきた中で、環境の激変はありましたか？

【武重さん】グレーゾーン金利が存在した時（2010年）は、債務整理の案件が増え、色々な方の人生を見た気がしますが、最近はこの手の仕事は減りました。また、2013年に土地家屋調査士の資格を取得したことにより、事務仕事だけでなく現場仕事が増えましたね。

【佐光】いわゆる過払い金請求ですね。まだCMやってますよね。では、今のお仕事のこれからのトレンドは何だと考えていますか？

【武重さん】団塊世代が70歳を越えてきて、これからはやはり相続や遺言の仕事が増えるかと思いますね。財産が多い少ないに関わらず、事前の相続対策は必要ですよ。

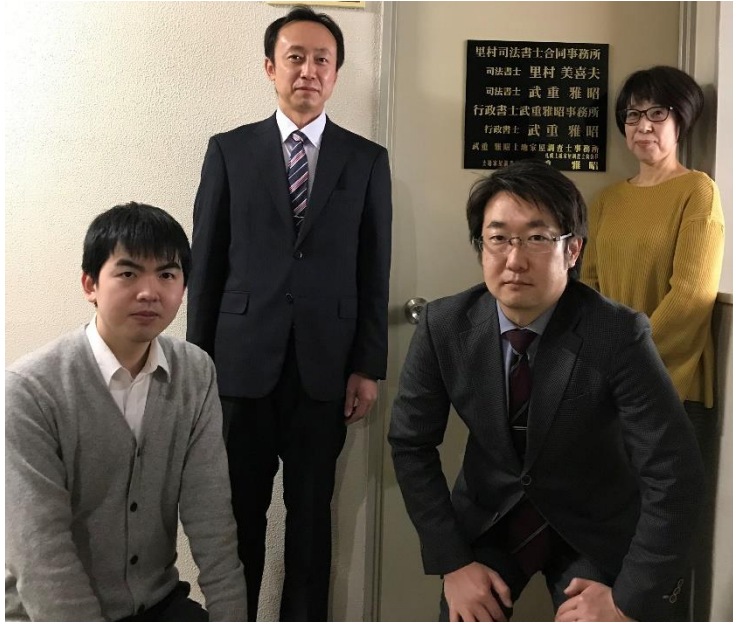
【佐光】本当にそうですね。「相続」が「争続」になるケースが増えていきますよね。



不動産王といえば、この人？？



◆◆◆友人のお仕事紹介(3/3)◆◆◆



武重さんとスタッフの皆さん

【佐光】最後に読者のみなさんにひとこと。

【武重さん】さこーちゃんとは高校の同級生で、昔話で盛り上がることが多いです。そして、お客様を紹介してくれることもあり、良き友人です笑。

私とスタッフは、親切丁寧な仕事をするを常に心掛けています。お陰様で、かつて依頼を受けたお客様が私どものことを覚えていてくれて、他の案件で連絡をいただいたり、知人を紹介してくださります。

読者のみなさん、「不動産」「相続」というキーワードで何かお困りごと、相談したいことがございましたら、お気軽にご連絡いただければと思います。ありがとうございました。

【佐光】こちらこそありがとうございました！

■■■インタビューを終えて■■■

武重さんとは高校の同級生ということもあり、インタビュー開始時は、お互い照れくさい雰囲気になりましたが、私の質問に答えていくにつれて、普段の誠実な仕事振りを垣間見ることができました。

土業の先生って、「偉そう」「敷居が高い」というイメージをお持ちの方もいるでしょうが、武重さんはとてもフランクに会話をする方です。また、取材時に、スタッフの方の電話対応の様子を拝見しましたが、本当に「親切丁寧な仕事」を実践されていると感じました。

武重さん、スタッフの皆さん、ご協力いただき、ありがとうございました。

読者のみなさん、「終活」「相続」「遺言」「後見人」などで相談がありましたら、お気軽にお問い合わせしてみてくださいね～。



【司法書士のバッジ】

中央部に「五三桐花」の絵を配置。

鳳凰の止まり木として神聖視されていた桐は、昔から家紋や神紋として用いられ、五七桐花は菊花紋に準ずる国章とされる。



里村司法書士合同事務所

土地家屋調査士・行政書士武重雅昭事務所

◆電話 011-221-4454

◆住所 札幌市中央区南2条東1丁目1番地

フラーテ札幌 801

◆営業時間 9:00～18:00

◆◆◆知らなきゃ損！でも、どう判断する?!◆◆◆

金融業界23年目のさこーちゃんが、皆さんに知って欲しいお金の情報をお伝えする新コーナー「知らなきゃ損！でも、どう判断する?!」です。

さこーちゃん通信を発行して以来、皆さんからいただいた感想の中で、「**お金や保険に関する情報も知りたい!**」という声を多くいただいています。そんな皆さんの声にお応えしたいと思います。

私のコンサルティングを受けた方は皆さんおわかりだと思いますが、**世の90%以上の方が「知らぬ間に生命保険で大損！」という事態に陥っています。**

先日もお会いした方のお金や保険の相談を受けると、保険や住宅ローンで2,000万円以上ものお金を損していることがわかりました。**これは驚くことに、この方が何も特別な人ではなく、これまで私は同じような人にたくさん出会っています。**



共通点は「**お金のことについて知らないだけ**」です。
・付き合いで勧められるままに保険に入っている。
・営業マンに出された通りのプランで住宅を買い、ローンを組んでいる。

そういった一つ一つの積み重ねと、知っているのと知らないだけで、**2,000万円以上もの大きなお金を損**してしまっているのです。

私の仕事にける想いは「**出会った人の今と将来のお金の不安を解消して、人生をより豊かにすること**」です。ですから、このコーナーでお金の情報をお伝えします。

前置きが長くなりましたが、今回は「**新型コロナウイルスショック～過去の歴史と賢者から学ぶ**」になります。

一向に収束の目途が立たない新型コロナウイルス。WHOによるパンデミック宣言が報じられて、世界の株式市場は混乱を極め、NYダウ平均株価は2月12日の29,551ドルの高値から30%以上も下落しています。

こうした株式市場が混乱している時こそ、冷静になり過去の歴史と賢者から学ぶべきと思います。

まずはやはりこの方、ウォーレン・バフェット。希代の天才投資家です。彼は次のように言っています。

「皆さんは、スーパーに買い物に行ったとき、普段より安かったら買い、高い値段だったら見送りますよね？」



ウォーレン・バフェット (1930~ : 現在89歳)

それが賢い消費者というものです。ところが、普段賢い人が株式市場になると、逆のことをするんですね。安くなると買いを見送り、高くなると買いを入れます。普段の生活でそんなバカなことしませんよね？」

2008年のリーマンショックの急落局面で、多くの投資家は保有する株式の売却を急ぎました。その中で、「価値ある企業の株が安く買える」とバフェット氏は、叩き売られた米国企業の株を買いまくりました。その時彼は、「リーマンショックで世界経済は数年は厳しい状況が続くかもしれないが、米国上場企業の価値は、今よりも10年後、10年後より20年後、必ず増大するはずだ」と言いました。実際、米国企業の一株当たり利益はこの10年で3倍になり、同株価指数も3倍を超えました。

コロナウイルスの影響で、世界経済は短期的にはダメージを受けるでしょうが、今よりも10年後、10年後より20年後、世界経済は成長を遂げているのではないのでしょうか？

もう一人、オットー・フォン・ビスマルクの言葉「**愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ**」です。

世界の株式市場は、200年を超える歴史の中で大きな暴落とその後の上昇相場を過去何度も繰り返してきました。2008年リーマンショック、2001年ITバブル崩壊、1987年ブラックマンデーなど歴史上の大暴落において、投資で成功を収めている人は、一時の損失に見舞われたとしても、決してバスを降りなかった人たちであることは歴史が教えてくれています。今は、バスを降りるタイミングではないと思います。ただ、この理由を説明するには、「**ドルコスト平均法**」を正確に理解する必要があります。次回はこの「ドルコスト平均法」についてお伝えしたいと思います。

◆◆◆おわりに◆◆◆

「さこーちゃん通信第5号」いかがでしたか。今回も8ページとボリューム満載でお届けしましたが、最後までお読みいただきありがとうございます。

今回は、読者の方から、いくつか質問がありましたのでお答えしたいと思います。

Q1. 住所がさこーちゃんの自宅のようですが、代理店は変わられたのですか？

A1. いいえ。変わらず、株式会社R Kコンサルティング札幌支社の支社長を務めております。事務所も札幌市中央区北2条西1丁目1 マルイト札幌ビル4階で変わっていません。

では、なぜ「さこーちゃん通信」では私の自宅住所を掲載しているかですが、理由は2つあります。1つは、皆さんに私のことや有益な情報を知って欲しいという想いから、**個人的に発行しているため**。2つ目は、私は皆さんの個人情報をお預かりしていますが、**私自身のことってオープンにしていないなあ～、フェアじゃないなあ～**と思い、自宅住所を掲載しています。

Q2. さこーちゃんに知人を紹介したいのですが、遠方に住んでいます。いかがでしょうか？

A2. ご紹介いただき、ありがとうございます。**基本的には、北海道にお住まいの方は対応させていただいておりますので、お気軽にご紹介ください。とっても嬉しいです♡♡♡**

Q3. さこーちゃんには生命保険でお世話になっていますが、自動車保険など損害保険の相談もお願いできますか？

A3. **もちろん大丈夫です。損害保険は、自動車保険、火災保険、ゴルファー保険などを取扱いしていますので、お気軽にご相談ください。**

今後も皆さんからいただいた質問や感想をご紹介させていただきますので、LINEやメールをお待ちしています。

最後に、新型コロナウイルスの影響で、ご自宅で過ごされる時間が増えた方も多いと思います。私は娘とゲームやジグソーパズルをして遊んでいます。息子は野球がしたくてうずうずしていますが、自主練習の機会を増やしています。

また、**普段できないこと、例えば、大掃除、読書、映画鑑賞、写真の整理、自分や家族の未来設計（実は全て私が最近行ったこと笑）などを自宅で行なう良い機会ではないでしょうか。**

GW頃にはいつもの状況に戻ることを期待したいですよね～。

友人のお仕事紹介コーナーへの出演者募集！

このコーナーへの出演をいつも募集しています。読者の皆さんはもちろんですが、皆さんの友人や知人の方の出演もOKです。「さこーちゃん通信」への掲載はもちろんですが、**出演者の方には、広告用に活用できる「〇〇さんのそこが知りたい！」を無料で100部お渡ししています。**

「私もインタビューしてっ！」という方は、お声かけくださいね～。



チヨコ
ーちゃん
通信
第5号
に
お
出
演
し
て
く
だ
さ
い

佐光 英貴 さこう ひでたか

携帯電話 090-2876-2283

メールアドレス hidesako7447@gmail.com

LINE ID hidesako7447

住所 〒007-0846

札幌市東区北46条東15丁目1-24



ライン登録用

※送付不要の場合はご連絡いただければ、直ちに停止いたします。